

1.学会関連情報

○日本保健物理学会第53回研究発表会（大阪、発表申込期限:令和2年2月13日(木)）

<http://www.jhps.or.jp/jhps53/index.html>

○国際対応委員会 国際放射線防護学会 (IRPA) ニュースレターNo.23 を翻訳・公開
IRPA のニュースレターである IRPA Bulletin の邦訳版を作成し、IRPA のホームページに公開
されました。(1月17日)

<http://www.irpa.net/page.asp?id=54592>

○令和2年度国際的機関主催会合等への若手派遣事業(放射線防護アンブレラ)
(締切:令和2年5月31日)

<http://www.umbrella-rp.jp/ref.php#20200127>

○「放射性廃棄物処分に係わる生活圈被ばく評価に用いられるパラメータ調査専門研究会」第3
回会合(日時:令和2年2月21日)

研究会委員以外の方につきましても希望があればオブザーバーとして参加が可能(参加希望の
方は2月18日までに一報を)。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=186>

○ガイドライン「眼の水晶体の線量モニタリング」に関する意見募集について(結果報告)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=185>

○ガイドライン「眼の水晶体の線量モニタリング」に関する公衆審査について(案内)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=184>

○「現存被ばく状況における環境修復活動で発生する廃棄物の管理に関する防護のガイドライン」
に関する意見募集について(結果報告)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=188>

○「現存被ばく状況における環境修復活動で発生する廃棄物の管理に関する防護のガイドライン」
に関する公衆審査について(案内)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=189>

○ICRP 放射線デトリメント計算方法に関するドラフト文書への意見募集について(4月7日まで)
<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=187>

2. 関連する研究情報

論文紹介

○Radiat. Res. 2020 in press. doi: 10.1667/RR15504.1. [Epub ahead of print]

カナダのオンタリオ州健康保険プログラムを用いた頭部 CT 検査と白内障手術に関する 1600 万人の 22 年間の解析。2-3 回の検査で手術のハザード比が有意に増加しているが、4 回以上の検査では減少しており、CT 検査回数と白内障手術リスクに相関なし。

Cataract Formation and Low-Dose Radiation Exposure from Head Computed Tomography (CT) Scans in Ontario, Canada, 1994–2015.

Gaudreau K et al.

<https://doi.org/10.1667/RR15504.1>

○Radiation Protection Dosimetry, Volume 185, Issue 3, December 2019, Pages 275–281,

X 線撮影の補助者についての眼の水晶体の被ばく線量を、頸部に装着した個人線量計と鉛メガネに装着した OSL 線量計からそれぞれ評価。

EYE LENS DOSES OF RADIOLOGY TECHNOLOGISTS WHO ASSIST PATIENTS DURING RADIOGRAPHY

Akira Suzuki et al.

<https://doi.org/10.1093/rpd/ncz007>

○RADIOISOTOPES, 69, 19–30 (2020)

東京電力福島第一原子力発電所事故により大気中に放出された放射性核種の事故初期の放出率の時間変化、大気中濃度の時間変化等に関するレビュー。

放射性核種の大気放出と大気中動態の理解の現状

山澤 弘実ら

<https://doi.org/10.3769/radioisotopes.69.19>

○International Journal of Disaster Risk Reduction, Volume 46, 101513

震災後の小・中学生の子をもつ保護者が回答する地元食品の回避傾向は、2015 年度までは微小な改善傾向であったが、2016 年度に入って大幅に改善した。(2015-2016 年度にかけて 15%～27%)。2016 年度に大幅な改善が示されたことから、震災後継続的に実施された除染活動や

放射線に対するリスクコミュニケーション活動に加えて、避難指示解除や営農再開等の行政的な意思決定が、地元食品回避傾向の改善に寄与している可能性が示唆された。

The trajectories of local food avoidance after the Fukushima Daiichi nuclear plant disaster: A five-year prospective cohort study

Yoshitake Takebayashi

<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S221242091930682X?via%3Dihub>

○Proceedings of the Japan Academy, Series B, Volume 96

5年間で対象となった乳幼児の20%以上、3,117人が被検者となり、そのうち2,011人がカウンセリングを受けた。南相馬市の0歳から6歳の子どもの内部被ばくによる線量が、食品の産地に関する選好に関係なく低く抑えられていることが示された。乳幼児の食事パターンは成人とは異なる場合があるが、慢性的な内部被ばくは食品汚染管理によって適切に管理されており、乳幼児の内部被ばくによる健康リスクはごくわずかと考えられる。

Usefulness of the whole-body counter for infants and small children (BABYSCAN) as a risk communication tool after the Fukushima Daiichi nuclear power plant incident

Masaharu Tsubokura

https://www.jstage.jst.go.jp/article/pjab/96/2/96_PJA9602B-03/_article

3. ニュースや社会の動き

○ICRPがタスクグループ102草案「Radiation Detriment Calculation Methodology」の公開意見募集を開始(コメント提出締切2020年5月1日)

<http://www.icrp.org/consultation.asp?id=97173938-CB10-4965-837A-23A96FEDFEC4>

○日本アイソトープ協会 法令検討専門委員会・放射線安全取扱部会 放射線管理Q&Aを更新(1月15日)

<https://www.jrias.or.jp/faq/c5/statute-qa.html>

○原子力規制委員会 第148回総会放射線審議会の配布資料を公開(1月24日)

<https://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/houshasen/210000047.html>

○Radiation Protection 193: Radon in workplaces – implementing the requirements in Council Directive 2013/59/Euratom を公開

<https://ec.europa.eu/energy/en/topics/nuclear-energy/radiation-protection/scientific-seminars-and-publications/radiation-protection-publications>

4. これからのイベント

○広島大・長崎大・福島県立医大共催 放射線災害・医科学研究拠点「第4回国際シンポジウム」・「第1回ワークショップ」(2020年2月12-13日、広島大学霞キャンパス広仁会館)

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/rbm/news/55562>

○原子力規制庁共催 "OECD/NEA Workshop on Preparedness for Post-accident Recovery Process: Lessons from Experience" (2020年2月18-19日、東京大学本郷キャンパス)

<https://www.oecd-nea.org/download/wpnem/Tokyo2020JointWorkshop/index.html>

○令和元年度 核燃料物質の安全管理講習会

原子力安全技術センター (令和2年2月21日 13:05 - 16:30、東京)

<https://www.nustec.or.jp/project/kakunen.html>

○国際ワークショップ「放射線疫学における測定誤差: 現在の方法論とその先」(2020年3月5-6日、放射線影響研究所広島講堂)

<https://www.rerf.or.jp/information/00009083-2/>

○緊急時の精神的・心理社会的支援に関する国際会合(2020年3月18-20日開催)

Int'l workshop co-organised by BfS, OECD/NEA, WHO on mental health and psychosocial support in Emergency, 18-20 March, Germany –

<https://www.oecd-nea.org/download/wpnem/Munich2020JointWorkshop>

○NCRP2020年会「Radiation & Flight: A Down-to-Earth Look at Risks」(2020年3月23-24日、米国・メリーランド州ベセスダ)

<https://ncrponline.org/>

○Particle Radiobiology in Space & Oncology Symposium (2020年5月27-29日、米国メリーランド州ベセスダ)

<https://www.eiseverywhere.com/website/8881/program/>

○三次元・先端的線量評価に関する国際会議 "The International Conference on 3D and Advanced Dosimetry (IC3DDose) 2020" (2020年6月15-18日、カナダ国ケベック市)

<https://ic3ddose.phy.ulaval.ca/home/>

○「NORN の産業利用における管理に関する国際会合」(2020年10月19-23日)

International Conference on the Management of Naturally Occurring Radioactive Materials (NORM) in Industry, 19-23 October 2020, Vienna, Austria

(アブストラクト提出期限:2月28日(金))

<https://www.iaea.org/events/norm-2020>

○「放射線安全に関する国際会合」(2020年11月9-13日)

International Conference on Radiation Safety: Improving Radiation Protection in Practice, 9-13 November 2020, Vienna, Austria

(アブストラクト提出期限:3月15日(日))

<https://www.iaea.org/events/international-conference-on-radiation-safety-2020>

○国際会合「International Conference on Molecular Imaging and Clinical PET/CT in the Era of Theranostics (IPET-2020)」(2020年11月23-27日、オーストリア・ウィーン)

<https://www.iaea.org/events/ipet-2020>

○ICRP 国際ワークショップ「ICRP International Conference on Recovery after Nuclear Accidents: RP Lessons from Fukushima and Beyond」(2020年11月30日-12月4日、福島市)

<http://www.icrp.org/page.asp?id=454>

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○量子科学技術研究開発機構 任期制常勤職員(研究職/主任研究員)

量子医学・医療部門 放射線医学総合研究所 高度被ばく医療センター

https://www.qst.go.jp/uploaded/life/37566_44246_misc.pdf

(〆切:2月25日 必着)

○岐阜大学 医学系研究科 放射線医学分野 先端画像開発講座 技術補佐員(任期あり)

https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D120020065&ln_jor=0

(〆切:3月31日 必着)

既発行の Newsletter はこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/newsletter/page.cgi>

Newsletterにて会員に有益な最新論文やイベント情報等の発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

— —

【発行】一般社団法人日本保健物理学会

【編集】同広報担当 Newsletter作成グループ

【発信元】同学会事務局

TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659

E-mail: exec.off@jhps.or.jp

— —